

常潤の誉れ

鹿児島県立加世田常潤高等学校

農福連携 学科超え発表会

南さつま市の加世田常潤高校は、食農プロデュース科と生活福祉科の2学科の合同発表会を初めて実施した。これまで別々に開いていたが、農業と福祉を結ぶ「農福連携」のスタートにと計画。互いの学習内容を知り理解を深めた。

「加世田常潤高校まるごとSTUDY」と名付け、2日開催。出場者15人を含む生徒72人が参加した。食農プロデュース科9人は農業に対する意見や目標を発表。生活福祉科6人は脳梗塞でまひが残る高齢者の介護技術を競った。それぞれ最優秀者は県大会に出場する。

加世田常潤高

食農プロデュース科3年の下御領美月さんは「介助者がお年寄り役に丁寧と話しかける姿が印象深い。頑張る様子が伝わってきた」。生活福祉科3年の馬込彩希さんは「イチゴ農家になる夢や食育の話に興味を湧かした。いつか農福連携につなげたい」と話した。

(犬塚政志)



生活福祉課の介護技術コンテストを後方で見守る食農プロデュース科の生徒。南さつま市の加世田常潤高校